

科目名：保育実習Ⅳ		講義・ <b>演習</b>	担当教員名：遠田康人
			実務経験：有
2年次	前期	2単位(12日間)	選択必修/必修(実習・指導Ⅲ又はⅣを履修)
授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住型児童福祉施設等の生活に参加し、利用者への環境の理解を深めるとともに、居住型児童福祉施設等の機能とそこでの施設保育士の職務について学ぶ。</li> </ul>			
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設の概要や養護の一日の流れを理解し、参加する。</li> <li>・子どもの観察や関わりを通して、子どものニーズを理解する。</li> <li>・援助計画を理解する(立案と実践)。</li> <li>・生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。</li> <li>・職員間の役割分担とチームワークについて理解する。</li> <li>・記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解する。</li> <li>・子どもの最善の利益についての配慮を学ぶ。</li> <li>・施設保育士としての職業を理解する。</li> <li>・安全及び疾病予防について理解する。</li> <li>・実習前には事前訪問、実習中には見学・観察、参加、担当型の指導実習、反省会が行われる。</li> </ul>			
授業計画			
1	実習施設の理念・目標機能、役割等を知り、施設や施設養護の特質について理解を深める。		
2	施設の子どもと施設養護の実態について理解する(生活の流れ)。		
3	子どもの生活や援助に関わり、個々の子どもに応じた接し方、生活面の指導・援助の仕方などを修得する。		
4	子どもと学校、地域との関係及びそれに対する職員の関わり方について学ぶ。		
5	子どもと親との関係について学ぶ。		
6	中間反省会 実習前半の振り返りと実習後半の見通しのスーパーバイズを行う。		
7	配属された児童集団のなかで、養護の実践を経験する。		
8	個々の子どもの家庭的背景、生育歴、心身の発達等について理解する。		
9	養護方針と援助のあり方について学びながら施設における子どもの生活について理解を深める。		
10	居室の運営、施設設備と職員組織、入・退所の手続きなどを把握する。		
11	起床、就寝、食事、入浴、衣類、健康、余暇、金銭など日常生活場面における関わり、学習指導など保育士の全体的役割を理解する。		
12	反省会 保育士の姿勢、子どもや職員との関わり方を振り返り、今後の課題を整理する。		
13			
14			
15			
テキスト			
参考書等			
評価の方法 実習日誌の記載、実習の態度、実習先の評価、本学教員における巡回指導における評価等を総合して成績評価を行う			

